

米国 ワシントン州のリンゴ生産量は29%増加

FreshPlaza 2023年8月22日

ワシントン州は、次のシーズンのリンゴの出荷量が驚異的に29%も増加すると誇らしげに報告している。この出荷量の急増は、外観がきれいで品質の良い果実の豊かな実りを育んだ春の良好な生育条件に帰すことができる。

すべての小売チャンネルに販売促進のチャンスがある。小売業者は、年間を通じた販促を支える安定したリンゴの供給を期待できる。スーパーフレッシュ農場(Superfresh Growers)のキャット・ジャイブスチュワート販売部長は、「今年は昨年の商品販売計画とは全く違う。今年はリンゴの量が多く、品質も良いので、リンゴを売り場の中心に据える年になる」と説明する。(以下「」は同部長の発言)

ハニークリスプとコズミッククリスプ

今年のリンゴの収穫量は、すべての品種で2桁(パーセント)の印象的な増加を示している。この量の多さは、すべての味覚と好みに応える色とりどりの選択枝の多さと言い換えることができる。「品種ではハニークリスプとコズミッククリスプが大幅な増加と並外れた品質を示しており、特に注目に値する。」これらの品種の人気の証として、消費者はこの2つの選択枝の間を行き来している。この傾向を利用して、両方の品種を同時に推すか、交互に推して強力な2段階の販促を行うかの二通りの販促戦略が推奨される。

今シーズンの注目の品種は、オータムグローリー(Autumn Glory®)である。この品種は、収穫量の大幅な増加が見込まれている。「シナモンとキャラメルの特徴的な風味と、秋を思わせる名前が特徴で、特にクリスマス商戦前の11月の販促において強力な選択枝となる。」

果実のサイズが増大

出荷量の多さを特徴とする年に、同社は、農業関係者の利益を最大化する申し分のない品質を提供することに専念している。一般的な果実の品質は昨年の標準を超えると予想され、果実のサイズが2段階も大きいことが特徴である。特に、今年のサイズ分布は、中心となるサイズに集中し、大小両極端のサイズは量が少ないことが注目される。

有機栽培品と慣行栽培品の両方で、果実は傷がなく外観がきれいで、同社は品質が今年を中心的なテーマになると確信している。5月の春の天候が理想的な生育条件を生み出し、健全な開花と最適な受粉を促進した。さらに、春の気温は最適な栄養吸収を促し、2022年の相対的に寒い春に比べて著しく良くなり、ほとんどの品種で良く肥大した高品質の果実の生育が確実に変わった。

「2022年度シーズンは生産者にとって困難であった。過去は置き去りにして、新しい年の作柄を楽しみにしたい。昨年が一番悪い時期の嵐に伴う雪が受粉を妨げ、収穫時期には早期に寒波が訪れて、品質は理想的とは言えず、収穫量は少なくなった。これらのことは今は記憶のかなたに置き去ることができる。」